

大和市学校教育基本計画

(前期) 基本計画

別冊

1. 前期基本計画延伸の理由

- 令和5年5月に就任した現市長は、選挙や所信表明に置いて、市民が幸せを実感できる大和市を目指すことのほか、防災、教育、福祉、経済等の面で新たなまちづくりの方針を示しました。
- この方針は市の政策及び施策全般に関わっていて、将来都市像や政策の方向性を示す基本構想から見直す必要があるため、計画期間が2025年度（令和7年度）から始まる新たな総合計画を策定することになりました。
- この新たな総合計画の計画期間に対し、健康都市やまと総合計画の前期基本計画の計画期間は2023年度（令和5年度）までとなっていたため、2024年度（令和6年度）が基本計画のない期間とならないよう、前期基本計画に示す施策等は継続するとしてうえて、その計画期間を1年延伸します。
- 健康都市やまと総合計画の前期基本計画の延伸に対応して、大和市学校教育基本計画の前期基本計画も、その計画期間を1年延伸します。

2. 前期基本計画延伸に伴う改訂

- 目標年次を変更し、基本目標の実現に向けた成果を計る主な指標の目標値※の再設定（2024年度の目標値の設定）と、目標達成に向けた主な事務事業の2024年度の年次計画の追加を行います。

※目標値：計画期間の最終年度における目標値

(1) 目標年次

- 目標年次は2024年度（令和6年度）とします。

(2) 成果を計る主な指標

- 大和市学校教育基本計画策定時点における考え方を基本として、目標値（2024年度の目標値）を設定しました。

(3) 主な事務事業の年次計画

- 大和市学校教育基本計画策定時点における考え方を基本として、2024年度の年次計画を追加しました。

第三章 基本目標の実現に向けた施策の方向

基本目標1 子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます

○ 基本目標1の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向1-1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します 目指す成果 【子どもは】基礎基本が身に付いている			
各学年の基礎的・基本的な学習内容の習得を計る、振り返り調査の通過率 ※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	小) 60.3%	小) 80.0%	小) 80.0%
	中) 57.1%	中) 80.0%	中) 80.0%
【設定理由】児童生徒が基礎的・基本的な学習内容を習得していることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに、小学校、中学校ともに80%程度の通過率を目指します。 ※全小学3年～中学2年に、国語と算数・数学の振り返り調査を実施。70点以上を通過とする。			
施策の方向1-2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取組みを推進します 目指す成果 【子どもは】主体的・対話的で深い学びを実現している			
「図書館を使った調べる学習コンクール」の応募数	6,992人	7,340人	7,410人
【設定理由】子どもが、充実した学校図書館や情報通信ネットワークなどを適切に活用し、調べる学習を通して主体的に学んでいることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに、6%程度の増を目指します。			
施策の方向1-3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します 目指す成果 【子どもは】一人ひとりの子どもに適した教育を受けている			重点施策
大和市特別支援教育センターで扱った、特別支援や発達に関する保護者や学校からののべ相談件数	201件	260件	270件
【設定理由】保護者や学校の教員が専門家と相談することは、困難をかかえている子どもに寄り添った教育の推進につながります。一人ひとりの子どもに適した教育が行われていることを示す指標として設定します。目標値として、相談件数が前年度を上回ることを目指します。			
施策の方向1-4 今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます 目指す成果 【教職員は】今日的な諸課題に対応できている			重点施策
今日的な課題に対応した研修講座で「役に立つ」と答えた教職員の割合 ※該当教職員数÷調査対象教職員数×100	97.0%	100.0%	100.0%
【設定理由】研修講座は、教職員の課題解決力や資質向上に大きく寄与することから、今日的な課題に対応することのできる教職員育成が行われていることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに、100%を目指します。 ※教育研究所主催研修講座アンケート「役立つ」・「どちらかといえば役立つ」の数値。該当教職員。			
放課後の時間を使い、プログラミングについて学ぶ「放課後寺子屋プログラミング教室」の参加者数	小) -	小) 12,000人	小) 12,000人
	中) -	中) 5,000人	中) 5,000人
【設定理由】児童生徒の情報活用能力の育成を図ることや、物事の仕組みを論理的に考察する力を身に付けるとともに新しいものを作り出す楽しさを味わわせるために、様々なプログラミング教室を開催するなど、プログラミング教育を推進します。目標値に向けて「放課後寺子屋プログラミング教室」の参加者数が増加することを目指します。			

○ 基本目標1の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向1-5 学びを支える教育環境整備を進めます 目指す成果 【子どもは】教育環境が整った中で、学ぶことができる			
児童生徒用PC1台当たりの児童生徒数 ※児童生徒数÷児童系PC整備台数	7.2人	1人	1人
【設定理由】子どもを取り巻く環境に左右されることなく、安心して学習活動を行うことができるよう、教育環境が整えられていることを示す指標として設定します。目標値として、引き続き児童生徒用PC1台当たり1人の整備を維持します。 ※2020年度に児童生徒用PC1台当たり1人の整備を完了し、当初の目標値である「7人」を前倒して達成したため、目標値を「1人」に変更しました。			
「1人1台のPCを使った授業は分かりやすい」と答えた児童生徒の割合 ※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	—	95.0%	95.0%
【設定理由】教育環境が整った中で児童生徒が学ぶことができることを示す指標として設定します。日々の学習活動においてPCの有効活用が促進されるような環境整備を計画的に進めていく必要があることから、目標値として、2024年度までに95%以上を目指します。 ※小学1年～中学3年にアンケートを実施。「分かりやすい」「どちらかといえば、分かりやすい」の数値。 ※2021年度から新たな指標として追加しました。			

基本目標2 様々な体験を通し、豊かな感性を育みます

○ 基本目標2の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向2-1 想像力を豊かにする読書活動を推進します 目指す成果 【子どもは】進んで、楽しんで本を読んでいる 重点施策			
1 か月間の平均読書冊数 ※1 か月に調査対象児童生徒が読んだ本の冊数の合計÷調査対象児童生徒数	小) 14.6 冊 中) 4.4 冊	小) 15.8 冊 中) 5.6 冊	小) 16.0 冊 中) 5.8 冊
「読書が好き」と答えた児童生徒の割合 ※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	小) 85.6% 中) 73.3%	小) 94.2% 中) 80.6%	小) 94.2% 中) 80.6%
<p>【設定理由】進んで、楽しんで読書をすることは、子どもの感性を磨くことにつながります。量と質の双方の向上を計るために、児童生徒が本に親しんでいる量を計る指標と、楽しんでいるという質を計る指標として設定します。読んだ本の冊数は、今後も増え続けることを目指します。読書が好きと答えた児童生徒の割合は目標値として、2024年度までに、小学校、中学校ともに現状値の10%程度の増を目指します。</p> <p>※読書冊数については、小学1年～中学3年。</p> <p>※「読書が好き」の項目については、小学1年～中学3年にアンケートを実施。「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の数値。</p>			
施策の方向2-2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します 目指す成果 【子どもは】感性が豊かになっている			
美術館等で対話による美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合	80.6%	85.6%	86.6%
<p>【設定理由】音楽や美術などの芸術に触れ、心を動かされる機会を持つことは、人生が豊かになると考えられることから、学校教育において、芸術と豊かに関わる力を身に付ける学習が行われていることを示す指標として設定します。</p>			
施策の方向2-3 様々な体験学習の機会を提供します 目指す成果 【子どもは】様々な体験をして経験値を増やしている			
職場体験受け入れ一事業所当たりの中学生の人数 ※中学生数÷中学校の職場体験を受入れているのべ事業所数	10人	10人	10人
<p>【設定理由】中学生が、学校外での社会体験や、社会的自立、職業的自立に向けて必要なキャリア教育のために豊富な機会を得ていることを示す指標として設定します。目標値として2024年度まで、現状値の継続を目指します。</p>			

基本目標3 安全安心な環境を整え、健康な心身を育てます

○ 基本目標3の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向3-1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します			
目指す成果 【子どもは】心も体も健康に過ごしている			
「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合 ※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	小) 65.4%	小) 75.4%	小) 75.4%
	中) 67.8%	中) 77.8%	中) 77.8%
【設定理由】心が健康であることは自分自身を肯定的に見つめられることにつながっていきます。心が健康であることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに約10%の増を目指します。 ※小学4年～中学3年に、アンケートを実施。「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の数値。			
「運動（体を動かす遊びを含む）することは、あなたの健康のために、どのくらい大切だと考えますか」に「大切である」と答えた児童生徒の割合	小) 95.9%	小) 100.0%	小) 100.0%
	中) 95.0%	中) 100.0%	中) 100.0%
【設定理由】体を動かすことの楽しさや心地よさを感じ、健康な生活の元となる規則正しい生活の大切さについての理解が進んでいることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに100%を目指します。 ※小学4年～中学3年に、アンケートを実施。「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の数値。			
施策の方向3-2 健康な心身のための、食育を推進します			
目指す成果 【子どもは】食事を大切にしている			
「食事をしっかりと取ることは、あなたの健康のために、どのくらい大切だと考えますか」に「大切である」と答えた児童生徒の割合	小) 96.6%	小) 100.0%	小) 100.0%
	中) 97.4%	中) 100.0%	中) 100.0%
【設定理由】規則正しい食生活は、心身の健康につながります。子どもが、食事が大切であることを理解していることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに100%を目指します。 ※小学4年～中学3年に、アンケートを実施。「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の数値。			
施策の方向3-3 命を守る、安全教育を推進します			
目指す成果 【子どもは】自分の身を守ることができる			
市内小中学生の交通事故件数	73件	62件	62件
【設定理由】交通事故から自分の身を守るためには、交通ルールや安全についての理解が必要です。通学路の交通安全指導や、自転車教室等の安全教育が行われていることを示す指標として設定します。 ※交通事故件数0を目指す中で、策定当初の件数を下回る目標値を設定しています。			
施策の方向3-4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます			
目指す成果 【子どもは】落ち着いて学べる学校の環境が整っている			
修繕必要施設の改善割合 ※補修処理件数÷全補修要望数×100	86.9%	90.0%	90.0%
【設定理由】良好な環境の中で児童生徒が学習していることが必要であり、施設などを日々適切に維持管理されていることを示す指標として設定します。学校から提出される補修要望依頼書に対応することで、環境改善につながると考えることから、90%を目標値として設定します。なお、施設の老朽化に伴う大規模な改修は、学校の要望なども踏まえながら計画的に実施していきます。			

基本目標4 多様性を尊重し、他者と共に生きる社会性を育てます

○ 基本目標4の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向4-1 いじめのない学校生活に向けた取組みを進めます 目指す成果 【学校は】 いじめのない学校・学級が実現できている			重点施策
いじめの解消率	小) 85.4%	小) 100.0%	小) 100.0%
※いじめ事例解消件数÷いじめ認知件数×100	中) 93.8%	中) 100.0%	中) 100.0%
【設定理由】 一人ひとりの児童生徒を大切にしたい教育の取組みとして、どの子にも起こりうるいじめ問題への対応が図られていることを示す指標として設定します。いじめ問題の解消率(「解消している」「一定の解消関係が図られたが継続支援中」)が、小学校、中学校ともに100%となることを目標値として目指します。			
「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことがある」と答えた児童生徒の割合	小) 84.1%	小) 90.0%	小) 90.0%
※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	中) 90.8%	中) 93.0%	中) 93.0%
【設定理由】 児童生徒が課題に取り組む中で、互いに頑張ろうという気持ちが育まれると、絆が深まります。教員は、児童生徒一人ひとりの学びに寄り添いながら、集団としての学び合いができる場を設定する必要があります。児童生徒に、互いの存在を尊重し、高め合う関係が構築されることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに小学校で90%、中学校で93%を目指します。 ※小学4年～中学3年に、アンケートを実施。「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の数値。			
施策の方向4-2 不登校のない、誰もが通いたくなる学校づくりを進めます 目指す成果 【学校は】 不登校のない学校・学級が実現できている			重点施策
「指導の結果登校できる、するようになった児童生徒数」+「指導中で登校には至らないものの好ましい変化が見られた児童生徒数」の割合	小) 62.9%	小) 70.0%	小) 71.2%
	中) 51.1%	中) 60.0%	中) 61.5%
いじめ・友人関係・家庭環境に係る不登校児童生徒の出席率	小) 46.4%	小) 50.6%	小) 51.3%
※該当不登校児童生徒の出席数÷該当児童生徒の授業日数×100	中) 39.5%	中) 47.3%	中) 48.6%
【設定理由】 一人ひとりの児童生徒を大切にしたい教育の取組みとして、不登校児童生徒への対応が図られていることを示す指標として設定します。学校での未然防止や、初期対応に努めるとともに、全ての児童生徒に学習を保障します。「指導の結果登校できる、するようになった児童生徒数」+「指導中で登校には至らないものの好ましい変化が見られた児童生徒数」の割合については、計画策定時～最終目標値の上昇値を基に、小学校で1.2ポイント、中学校で1.5ポイント上昇することを目指します。いじめ、友人関係、家庭環境に係る不登校児童生徒の出席率については、小学校で毎年0.7ポイント、中学校で毎年1.3ポイント上昇することを目指します。 ※青少年相談室 文部科学省 問題行動等調査の数値。			
施策の方向4-3 社会性を育む道徳教育を推進します 目指す成果 【子どもは】 社会性が身に付いている			
「道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う」と答えた児童生徒の割合	小) 77.6%	小) 82.6%	小) 83.6%
※該当児童生徒数÷調査対象児童生徒数×100	中) 83.5%	中) 88.5%	中) 89.5%
【設定理由】 道徳教育は、自律した個人として、また、国家社会の形成者としてよりよく生きることを目標にしています。児童生徒に、道徳的諸価値についての理解を基に、自ら考え、友だちと議論することで深く自己を見つめ、実践してみようとする気持ちを育てることで、社会性を育てていることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度までに、6%程度の増を目指します。 ※小学4年～中学3年に、アンケートを実施。「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の数値。			

○ 基本目標4の実現に向けた、成果を計る主な指標

指標の内容	現状値	改訂前目標値 (2023年)	目標値 (2024年)
施策の方向4-4 社会に開かれた学校教育を推進します 目指す成果 【子どもは】地域に溶け込み、居場所がある			
児童に授業を実施したゲストティーチャーの1校あたりののべ人数	86.3人	100人	100人
【設定理由】学校は、よりよい学校教育を通してよりよい社会をつくるという理念を、保護者、地域の人々と共有し、社会と連携、協働して教育課程をつくることが求められています。児童の学びが学校内にとどまらず広がり、学校と地域が連携していることを示す指標として設定します。目標値として、2024年度の100人を目指します。			

大和市学校教育基本計画

～実施計画編（2021～2024年度）～

基本目標1 子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます

施策の方向1-1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します

（目標達成に向けた主な事務事業）

項目	寺子屋事業の推進			
内容	児童生徒への放課後学習支援を行い、基礎学力・学習習慣の定着を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
年次計画	放課後寺子屋やまとの 参加児童数 2,200人/週	同左	同左	同左
事務事業名	学力向上対策推進事業		担当課	指導室

項目	寺子屋コーディネーターによる教員への授業力向上支援及び生徒への学習支援			
内容	小学校では、教員への授業力向上支援を行い、中学校では、午後の授業で生徒への学習支援を行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
年次計画	授業力向上支援件数 4,800回/年	同左	同左	同左
事務事業名	学力向上対策推進事業		担当課	指導室

項目	数学・英語TT（中学校）・少人数指導			
内容	生徒一人ひとりによりきめ細かい指導を実施するため、1年生の英語・数学の授業に少人数指導やチーム・ティーチングを行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
年次計画	中学校少人数 指導非常勤講師 (数学) 9人 (英語) 9人	同左	同左	同左
事務事業名	学力向上対策推進事業		担当課	指導室

項目	教職員の指導力向上の推進			
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	訪問研修の実施 56回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員研修実施事業		担当課	指導室

項目	教育の情報化の推進			
内容	ICT機器を活用した様々な授業実践に関する研修講座の開催や調査研究を行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	教育の情報化に関する調査研究 調査研究部会の開催 12回 教育の情報化に関する研修講座 3回 訪問研修 5校	同左	同左	同左
事務事業名	情報教育推進事業		担当課	教育研究所

項目	少人数指導等の非常勤講師の配置			
内容	児童数・生徒数が1学級当たり35人以上の学校に非常勤講師を配置します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	講師配置校数 小・中学校合わせて8校	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校少人数指導等非常勤講師配置事業		担当課	学校教育課

施策の方向1-2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取組みを推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	調べる学習コンクールの推進			
内容	児童生徒が主体的・対話的で深い学びを体感、実感し、豊かな人生を創造できる資質・能力を養うため、図書館を使った調べる学習を推進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	調べる学習コンクール 小中学校応募募数 7,000点	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業		担当課	指導室

項目	新聞を活用した学習の推進			
内容	社会の様々な課題を多角的に考察し、公正に判断するための能力等を高めるため、図書館や小学校5・6年、中学校全学年の通常学級及び特別支援学級の教室に、新聞を配架します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	図書館や小学校5・6年、中学校全学年の教室に、新聞を配架	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業		担当課	指導室

項目	学力向上対策の推進			
内容	児童生徒への学習支援を行うとともに、小学校では教員の指導力を養うことで、中学校では授業においてチーム・ティーチングなど、きめ細かい指導を行うことで、総合的に学力の向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	放課後寺子屋やまとの参加児童数 2,200人/週	同左	同左	同左
事務事業名	学力向上対策推進事業		担当課	指導室

項目	学校訪問による指導力向上の推進			
内容	指導主事の学校訪問により、教育全般にわたる教職員の指導力向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	要請訪問の実施 28回 計画訪問の実施 28回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員研修実施事業		担当課	指導室

項目	教職員の専門性の向上対策の支援			
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	訪問研修の実施 56回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員研修実施事業		担当課	指導室

項目	理科教育・環境教育の推進			
内容	理科教育・環境教育に関する教職員の指導力向上を図るため研修講座を開催します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	訪問研修及び理科教育に関する相談・支援の件数 40件 理科教育機器貸出し 15種類	同左	同左	同左
事務事業名	理科・環境教育に関する調査研究・研修事業		担当課	教育研究所

項目	情報教育の推進			
内容	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、授業における1人1台端末の活用を推進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	教員が1日に端末を活用して授業を行った回数 2回	教員が1日に端末を活用して授業を行った回数 3回	教員が1日に端末を活用して授業を行った回数 3回以上	同左
事務事業名	情報教育推進事業		担当課	教育研究所

施策の方向1-3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	特別支援教育の推進			
内容	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細かい支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	特別支援学級担任教諭、通常学級担任教諭等対象研修会の開催 3回	同左	同左	同左
事務事業名	特別支援教育推進事業		担当課	指導室
内容	特別支援学級への就学や「ことばの教室」、「特別支援教育センター」へ通級する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育奨励費の普及を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	奨励費受給者数 小学校 223人 中学校 75人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校特別支援教育就学奨励事業		担当課	学校教育課

項目	日本語教育支援の推進			
内容	転・編入してきた日本語での授業に支障がある外国人につながるの児童生徒にブレクラスを実施するなど、日本語で教育内容を理解できるように支援します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	日本語指導員等派遣回数 1200回	同左	同左	同左
事務事業名	外国人児童生徒教育推進事業		担当課	指導室

項目	大和市特別支援教育センター相談業務の充実			
内容	教育上配慮を要する児童生徒が、適切な支援が受けられるようにします。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	相談実施回数 240回	相談実施回数 250回	相談実施回数 260回	相談実施回数 270回
事務事業名	就学相談事業		担当課	指導室

項目	大和市特別支援教育センター通級指導教室・ことばの教室運営			
内容	大和市特別支援教育センター通級指導教室において、課題が見られる児童生徒に、より豊かな人間関係を築いたり、安心して生活が送れたりできるよう、指導・支援を行います。ことばの教室において、一人ひとりの状態に応じて発音の学習、ことばの発達促進の学習、聴覚学習を行い、会話などを通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	大和市特別支援教育センター通級指導教室備品の充実 ことばの教室用教材備品の充実	同左	同左	同左
事務事業名	ことばの教室運営事業		担当課	指導室

施策の方向1-4 今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	外国語教育の推進			
内容	外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、外国の言語、文化について理解を深め、国際コミュニケーション能力の向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	ALT (アシスタントランゲージ ティーチャー) 派遣回数 1,600回 AET (アシスタント イングリッシュティーチャー) 派遣回数 620回	同左	同左	同左
事務事業名	英語教育推進事業		担当課	指導室

項目	プログラミング教育の支援			
内容	児童生徒を対象に、プログラミングへの興味関心を高め、動機づけや学習の深化を目的としたプログラミング教室を開催します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	放課後寺子屋 プログラミング教室開催 チャレンジプログラミング 教室開催	同左	同左	同左
事務事業名	教育用コンピュータ運用管理事業 情報教育推進事業		担当課	教育研究所

項目	学校訪問による今日的課題への対応の支援			
内容	指導主事の学校訪問により、今日的教育課題に対する指導力向上を支援します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	要請訪問の実施 28回	同左	同左	同左
事務事業名	学校訪問による学校別指導推進事業		担当課	指導室

項目	教職員の指導力向上の推進			
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	訪問研修の実施 56回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員研修実施事業		担当課	指導室

項目	教育に関する調査研究・研修の推進			
内容	今日的な教育課題の調査研究を行います。 様々な教育課題及び専門教科に関する研修講座を開催します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	人格的資質向上研修講座 2回 課題解決力向上研修講座 4回 授業力向上研修講座 5回	同左	同左	同左
事務事業名	教育に関する調査研究・研修事業 理科・環境教育に関する調査研究・研修事業		担当課	教育研究所

施策の方向1-5 学びを支える教育環境整備を進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	就学援助制度			
内容	学校教育法の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な家庭の負担を軽減するため、給食費や学用品費等を援助します。 ※受給者数は、経済状況によって増減します。経済状況を注視し、効率的な援助に努めます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	受給者数 小学校 2,230人 中学校 1,138人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校学用品等就学援助事業		担当課	学校教育課

項目	就学援助制度（医療費・めがね購入）			
内容	就学援助の認定を受けた家庭の児童生徒で、学校長から治療を指示された場合は医療費を援助します。また、同様の認定を受けた準要保護世帯の児童生徒で、学校の検診において片側視力が0.6以下の場合めがね代等を援助します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	小学校 227人 中学校 211人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校医療費等就学援助事業		担当課	保健給食課

項目	第3子以降の学校給食費の助成			
内容	保護者の経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の児童生徒の学校給食費を助成します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	補助金交付人数 小学校 244人 中学校 2人	同左	同左	同左
事務事業名	学校給食費助成事業		担当課	保健給食課

項目	奨学金制度			
内容	高等学校等への就学希望があるにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難な家庭の負担を軽減し、生徒の高校進学を支援します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	受給者数 150人	同左	同左	同左
事務事業名	奨学金給付事業		担当課	学校教育課

項目	学校評議員等の依頼			
内容	地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を進めることにより、学校教育の充実を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	学校評議員等の依頼人数 158人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業		担当課	指導室

項目	教育ネットワークの運用管理			
内容	小・中学校等をインターネット網で結ぶ教育ネットワークシステムの保守管理を行います。 校務支援システム及び資産管理システムの運用管理を行います。 クラウドシステムを効果的に活用するため、モバイル Wi-Fi ルータを整備します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	資産管理システムの適正な運用 セキュリティインシデント 0件 モバイル Wi-Fi ルータ整備	同左	同左	同左
事務事業名	教育ネットワーク運用管理事業		担当課	教育研究所

項目	各学校への教育用コンピュータ等の運用管理			
内容	小・中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの運用管理を行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	校内LAN機器リース更新 小学校等電子黒板更新 ICT支援員等の配置	同左	同左	校内LAN機器リース更新 小学校等大型提示装置更新 ICT支援員等の配置
事務事業名	教育用コンピュータ運用管理事業		担当課	教育研究所

※2022年度より電子黒板に替わり大型提示装置（液晶モニター等）を導入しています。

基本目標2 様々な体験を通し、豊かな感性を育みます

施策の方向2-1 想像力を豊かにする読書活動を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	学校図書館教育の推進			
内容	学校図書館の運営や活用の支援を行い、図書館教育の推進を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	学校図書館 スーパーバイザー（SL S） による学校訪問 180回	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業		担当課	指導室
項目	学校図書館の機能を十分発揮できるように、図書環境の充実を図ります。			
内容	学校図書館の機能を十分発揮できるように、図書環境の充実を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	担当教諭・学校司書対象 研修会の開催 2回 学校司書連絡会の開催 3回 学校図書館システムによる データ活用の推進	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業		担当課	指導室

施策の方向2-2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	芸術鑑賞等学校行事支援			
内容	児童生徒が心豊かな人間性を育めるよう、優れた芸術に接する機会を提供します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	文化的行事への助成校数 28校	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校行事等支援事業		担当課	指導室

項目	学校生活を豊かにする学校給食の推進			
内容	食を通して学校生活を豊かにするため、学校給食における食育を推進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	米飯給食の実施 週4回 学校給食展の実施 1回 親子料理教室の開催 2回 食育に関する研究の実施 栄養士による学校訪問 200回 食に関する指導（教科、総合） 35回	同左	同左	同左
事務事業名	学校給食食育推進事業		担当課	保健給食課

施策の方向2-3 様々な体験学習の機会を提供します

（目標達成に向けた主な事務事業）

項目	芸術鑑賞、体験学習支援			
内容	児童生徒が心豊かな人間性を育めるよう、自然に触れたり、優れた芸術に接したりする機会を提供します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	文化的行事への助成校数 28校	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校行事等支援事業		担当課	指導室

項目	理科教育・環境教育の推進			
内容	児童生徒を対象に、身近な物を使った科学教室やおもしろ科学館を開催します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	子ども科学教室 4回 参加人数 112人 おもしろ科学館 2回 参加人数 1,200人	同左	同左	同左
事務事業名	理科・環境教育に関する調査研究・研修事業		担当課	教育研究所

項目	運動、文化活動の場の提供			
内容	中学校の部活動（運動、文化活動）の振興を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	地域指導者の派遣人数 30人	同左	同左	同左
事務事業名	中学校部活動等支援事業		担当課	指導室

項目	放課後子ども教室の運営			
内容	児童が異学年や地域の方々と交流することをおして、社会性や協調性を育みます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	放課後子ども教室の 参加人数 3,000人/週	同左	同左	同左
事務事業名	学力向上対策推進事業		担当課	指導室

基本目標3 安全安心な環境を整え、健康な心身を育てます

施策の方向3-1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	児童生徒の健康管理の取組みの推進			
内容	疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	児童生徒健康診断の実施 各学校年1回	同左	同左	同左
事務事業名	児童・生徒健康管理事業		担当課	保健給食課
内容	新入学児童の健康状態を把握し、健康面などで配慮の必要な児童の適切な就学を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	就学時健康診断の実施 1回	同左	同左	同左
事務事業名	就学時健康診断事業		担当課	保健給食課

項目	中学校部活動振興の支援			
内容	中学校の部活動の振興を図るとともに、生徒の実技を指導し、体力向上や社会性などを養います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	地域指導者の派遣人数 30人	同左	同左	同左
事務事業名	中学校部活動等支援事業		担当課	指導室

項目	青少年相談の充実			
内容	児童生徒がより安心して相談できる体制を充実させるため、教職員向けの研修等を実施し、相談のスキル向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	教育相談担当者研修会 児童生徒支援研修会 7回	同左	同左	教育相談担当者研修会 児童生徒支援研修会 5回
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業		担当課	青少年相談室

※コロナウイルス感染症対策として市内を4地区に分けて実施していた児童生徒支援研修会を、2024年度は2地区に分けて実施いたします。

項目	安全安心な学校給食提供のための施設等の維持・管理			
内容	安全安心で、良質な学校給食を提供するために、施設を適切に管理し、計画的な改修を実施するとともに、調理機器等を整備し、更新します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	調理場施設、設備の 計画的な改修・更新 調理機器総合点検 1回	同左	同左	同左
事務事業名	給食共同調理場施設維持管理事務 単独調理校施設維持管理事務 受入校施設維持管理事務 学校給食施設大規模改修事業 学校給食設備整備事業		担当課	保健給食課

施策の方向3-3 命を守る、安全教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	防犯対策の強化			
内容	大和市立小学校に在籍する児童に防犯ブザーを配布します。 犯罪、不審者等の情報や、行政情報等を迅速に保護者へ通知します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	1年生に配布 学校PSメールの加入促進	同左	同左	同左
事務事業名	児童生徒安全対策事業		担当課	指導室

項目	情報モラル教育の推進			
内容	情報社会で安全に生活するための知識・技能、健康への意識を育成する研修会を児童生徒、教職員、保護者に向けて実施します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	訪問研修の実施 56回	同左	同左	同左
事務事業名	情報教育推進事業		担当課	教育研究所

項目	安全のための見回り・声掛け			
内容	青少年の非行防止と犯罪被害の未然防止のために、青少年相談員と青少年街頭指導員がゲームセンターや公園など地域を巡回し安全の向上に努めます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	街頭補導の実施 300回	同左	同左	同左
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業		担当課	青少年相談室
内容	登下校中などの児童生徒の安全を向上させるため、青少年相談員と青少年専門街頭指導員が学校を訪問し情報交換会等を行い、学校との連携を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	中学校との情報交換会 18回	同左	同左	同左
事務事業名	青少年相談員連絡協議会支援事業		担当課	青少年相談室

項目	防災マニュアルの策定・推進			
内容	大和市教育委員会防災マニュアルの策定、推進をします。 学校防災計画作成の支援をします。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	大和市教育委員会 防災マニュアル、学校 防災計画の策定	同左	同左	同左
事務事業名	児童生徒安全対策事業		担当課	指導室

項目	交通安全教育の推進			
内容	地域、関係機関における交通安全に関する専門的な知識等を生かした教育に取り組みます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	小学校交通安全教室の実施	同左	同左	同左
事務事業名	小学校地域教育力活用推進事業		担当課	指導室

施策の方向3-4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	安全安心な学校施設づくり			
内容	航空機による騒音に対する防音機能の低下及び施設の老朽化による諸問題を解決するために、計画的な大規模改修を実施します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	復旧防音大規模改修	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校大規模改修事業 小・中学校防音設備整備事業	担当課	教育総務課	
内容	良好な学習環境を確保するため、学校施設を適切に維持管理します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	適切な保守及び遅滞ない 修繕の実施 28校	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校施設維持管理事業	担当課	教育総務課	
項目	大和市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検の実施			
内容	小学校から提出された通学路合同点検依頼書の内容を精査し、推進会議による合同点検を実施します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	合同点検実施	同左	同左	同左
事務事業名	通学路指定・補修要望事務	担当課	学校教育課	
項目	学校の良好な環境衛生の維持			
内容	小・中学校における良好な環境衛生の維持を図るため、飲料水、プール水の水質検査及び教室の空気等の検査を定期的実施します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	室内環境検査 1回 飲料水水質検査 12回 プール水検査 1回	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校環境検査事務 学校薬剤師検査室運営事業	担当課	保健給食課	

項目	学校での児童生徒のケガ等に対する医療費等の給付			
内容	災害給付金の支給により、医療費の負担軽減等を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	災害給付件数 1,149件	同左	同左	同左
事務事業名	学校災害補償事業		担当課	保健給食課

項目	教職員の心身の健康維持			
内容	教職員の疾病の早期発見と予防、健康の保持を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	教職員健康診断 1回 ストレスチェック 1回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員健康診断事務		担当課	保健給食課

基本目標4 多様性を尊重し、他者と共に生きる社会性を育てます

施策の方向4-1 いじめのない学校生活に向けた取組みを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	いじめのない学校生活への支援			
内容	児童指導において、いじめ等の多様化する対応の充実を図るため、全小学校に児童支援中核教諭を配置し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう取り組みます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	全小学校へ児童指導・支援の中心的役割を担う中核教諭を配置	同左	同左	同左
事務事業名	いじめ等対策事業		担当課	指導室

項目	青少年等の相談と、教職員に向けた学校相談体制の支援			
内容	青少年（就学から30歳まで）やその保護者・教職員の相談を受け、いじめを含め学校生活全般について適切な支援を行います。電話・来室での相談や学校への教育相談員派遣により、様々な相談に青少年相談室常勤のスクールソーシャルワーカー（SSW）・青少年心理カウンセラー（CP）と学校派遣の教育相談員が対応します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	SSW・CPの対応件数 来室相談 1,200件 電話相談 900件 教育相談員による来室相談 1,990件	同左	同左	同左
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業		担当課	青少年相談室
内容	全中学校に、匿名でいじめについての相談・通報・報告ができるアプリ「STOPit（ストップイット）」を活用し、いじめの早期発見、解決に取り組みます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	「STOPit（ストップイット）」活用校 9校	同左	同左	「STANDBY（スタンバイ）」活用校 9校
事務事業名	いじめ等対策事業		担当課	指導室

※2022年度より「STOPit（ストップイット）」は「STANDBY（スタンバイ）」に名称を変更しました。

項目	ネットトラブルのサポート			
内容	児童生徒がネットいじめ等のトラブルに遭った際の相談、サポートを行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	トラブル相談実施 トラブル対応	同左	同左	同左
事務事業名	情報教育推進事業		担当課	教育研究所

施策の方向4-2 不登校のない、誰もが通いたくなる学校づくりを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	不登校の未然防止対策			
内容	「よりよい学校生活のためのアンケート」を実施し、学級や個人の状態を客観的に把握し、よりよい集団作りや不登校・いじめの防止に役立てる学級集団作りに取り組みます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	全小学校へ児童指導・支援の中心的役割を担う 中核教諭を配置	同左	同左	同左
事務事業名	いじめ等対策事業		担当課	指導室

項目	不登校の児童生徒と保護者に向けての支援			
内容	児童生徒の「生きる力」の伸長を目指し、教育支援教室（まほろば教室）を運営するとともに、各学校での不登校に対する取組みが活性化されるよう積極的な働きかけをします。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	まほろば教室通室人数 （年度末登録者数） 40人	同左	同左	同左
事務事業名	不登校児童生徒援助事業		担当課	青少年相談室
内容	中学校には不登校生徒支援員を、小学校には不登校児童支援員を配置し、不登校や登校を渋りがちな児童生徒が、学校生活を安心して過ごせるように学習支援や教育相談・家庭訪問を行います。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	不登校生徒支援員数 9人 不登校児童支援員数 5人	同左	同左	同左
事務事業名	不登校児童生徒援助事業		担当課	青少年相談室
内容	不登校や登校を渋りがちな児童生徒の保護者に向けて、その悩みを理解し支援するために教育相談アドバイザーを交えた保護者会を開催します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	不登校を考える保護者会 4回	同左	同左	登校を考える保護者会 4回
事務事業名	不登校児童生徒援助事業		担当課	青少年相談室

※2021年度より「不登校を考える保護者会」は「登校を考える保護者会」に名称を変更しました。

施策の方向4-3 社会性を育む道德教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	社会性を育むための教職員の研修・研究			
内容	学校教育における人権・同和教育を推進し、教職員の人権意識を高めます。豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	各学校の人権教育における 全体計画及び教育計画の 指導助言 28校 人格的資質向上研修(人権) 1回	同左	同左	同左
事務事業名	人権教育推進事業 教育に関する調査研究・研修事業		担当課	指導室・教育研究所
内容	教職員の指導力を高め、教育水準の向上を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	研究委託 ふれあい教育実践研究 推進校 3校 小・中学校教育研究会等への 助成	同左	同左	同左
事務事業名	教育研究支援事業		担当課	指導室
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、道德教育に関し、必要な専門知識や技能の習得を促進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	道德をテーマにした 訪問研修の実施 28回	同左	同左	同左
事務事業名	教職員研修実施事業		担当課	指導室

施策の方向4-4 社会に開かれた学校教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	学校評議員等の依頼			
内容	地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を進めることにより、学校教育の充実を図ります。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	学校評議員等の依頼人数 158人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業		担当課	指導室

項目	地域と協働した学校教育の推進			
内容	地域の方々が持っている専門的な知識・技能及び経験を学校教育に取り入れることを推進します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	学校支援ボランティア 人材バンク登録者数 64人	同左	同左	同左
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業		担当課	指導室
項目	広報誌の発行			
内容	特色ある教育活動を広報誌等で市民に周知するとともに、地域と連携した学校教育推進に向けた学習会への参加や活動への協力を働きかけます。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	ビジュアル版大和の教育 こども版まなびやまと まなびやまと	同左	同左	同左
事務事業名	教育に関する調査研究・研修事業		担当課	教育研究所

項目	大和市の教育に関する統計等の資料の発行			
内容	前年度の活動成果や指針を集約した統計及び研究検討の資料として、「大和の教育」を発行します。また、発行した内容については、ホームページへ掲載します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	大和の教育	同左	同左	同左
事務事業名	大和の教育刊行事業		担当課	教育総務課

項目	教育功労者の表彰			
内容	学校教育や社会教育などの分野において、長年にわたり活動いただいた功労や、他の模範となった功績をたたえ、表彰します。			
年次計画	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	表彰式実施	同左	同左	同左
事務事業名	教育委員会褒章事業		担当課	教育総務課